

## 学習・教育目標と基準1の(1)の(a)～(h)との対応

各学習・教育目標〔(A)、(B)、(C) - - -〕が基準1の(1)の知識・能力〔(a)～(h)〕を主体的に含んでいる場合には 印を、付随的に含んでいる場合には 印を記入する。

学習・教育目標	基準1の(1)の 知識・能力	(a)	(b)	(c)	(d)				(e)	(f)	(g)	(h)
					(1)	(2)						
						a)	b)	c)				
(A)	<視野>											
	<技術者倫理>											
	<意欲>											
(B)	<基礎>											
	<専門>											
	<展開>											
(C)	<発表>											
	<英語>											

### (A) 技術者としての姿勢

- <視野> 自己と世界の関係を理解し地球規模で物事を眺めることができる。
- <技術者倫理> 生産により生じる環境と社会への影響を認識し責任を自覚できる。
- <意欲> 習得した知識・能力を超える問題に備えて、継続的・自律的に学習できる。

### (B) 基礎・専門の知識とその応用力

- <基礎> 数学、自然科学および情報技術の知識を習得し、それを活用できる。
- <専門> 基礎工学および主となる専門分野に加えて、生産システムに関する専門工学（生産・素材・計測に関する工学ならびに知識に関する工学）の知識を習得し、それを活用できる。
- <展開> 習得した知識をもとに創造性を発揮し、限られた時間内で仕事を計画的に進めまとめることができる。

### (C) コミュニケーション能力

- <発表> 自らの取り組む課題に関する成果・問題点等を論理的に記述・伝達・討論できる。
- <英語> 英語による基本的なコミュニケーションができる。

(a) 地球的視点から多面的に物事を考える能力とその素養

(b) 技術が社会や自然に及ぼす影響や効果、および技術者が社会に対して負っている責任に関する理解（技術者倫理）

(c) 数学、自然科学および情報技術に関する知識とそれらを活用できる能力

(d) 工学（融合複合・新領域）関連分野の専門技術に関する知識とそれらを問題解決に応用できる能力

(1) 基礎工学の知識・能力

基礎工学の内容は 設計・システム系科目群、 情報・論理系科目群、 材料・バイオ系科目群、 力学系科目群、 社会技術系科目群の5群からなり、各群から少なくとも1科目、合計最低6科目についての知識と能力

(2) 専門工学の知識・能力

a) 専門工学（工学（融合複合・新領域）における専門工学の内容は申請高等教育機関が規定するものとする）の知識と能力

生産システムに関する専門工学（生産・素材・計測に関する工学ならびに知識に関する工学）の知識と能力

b) いくつかの工学の基礎的な知識・技術を駆使して実験を計画・遂行し、データを正確に解析し、工学的に考察し、かつ説明・説得する能力

c) 工学の基礎的な知識・技術を統合し、創造性を発揮して課題を探求し、組み立て、解決する能力

d) （工学）技術者が経験する実務上の問題点と課題を理解し、適切に対応する基礎的な能力

(e) 種々の科学、技術および情報を利用して社会の要求を解決するためのデザイン能力

(f) 日本語による論理的な記述力、口頭発表力、討議等のコミュニケーション能力および国際的に通用するコミュニケーション基礎能力

(g) 自主的、継続的に学習できる能力

(h) 与えられた制約の下で計画的に仕事を進め、まとめる能力